Vol. 2

R8年度狭山市

まちづくりワークショップ通信

20年後の狭山市について考える

まちづくりワークショップ開催！

狭山市では、20年後のまちの姿を参加者の皆さんと一緒に考える全4回のワークショップを開催しています。第2回ワークショップでは、まちづくりにおける都市計画の基本的な考え方や事例、狭山市駅東口エリアの現状や課題について学びました。また、人口減少や少子高齢化などの地域課題を踏まえながら、将来どのようなまちを目指すべきかについて理解を深めました。グループワークでは、「狭山市駅東口エリアのまちづくり方針を考えよう」をテーマに、まちづくり方針リストの中から対象エリアにふさわしい方針を選択しました。その後、方針を実現するために必要な機能を検討し、3D都市モデル上に配置しながら、東口エリアの将来像について意見を出し合いました。

全4回のワークショップスケジュール

ガイダンス	知識インプット・課題整理（今回）	フィールドワーク	将来像づくり
第1回	第2回	第3回	第4回

第2回の様子

当日の流れ ガイダンス ▸▸ グループワーク ▸▸ 発表







torinome powered by Cesium / Google Maps

方針リスト

景観
- 緑で覆われたまちなみ
- 新しく整然としたまちなみ
- 活気がある複雑なまちなみ

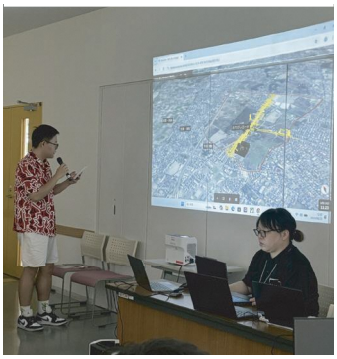
産業・観光
- 起業する人が多い
- 農業が盛ん
- 新たな産業の立地

子育て・子ども
- 安心して遊べる
- パパママが交流できる
- ボールや花火遊びができる

防災
- 地震や大雨の時に安心できる

商業・娯楽
- アミューズメントが楽しめる
- 夜も楽しめる
- 狭山ならではのお店がある
- 大きな店で買い物が楽しめる





発行元：狭山市都市計画課

各グループで出たアイデア

Idea / 01

住み続けたいと思える駅前を道路・防災・遊び場から考える

- 駅から大型商業施設まで歩きやすく安全な道路を整備する
- 防災とイベント機能を備えた「狭山ドーム」をつくる
- 市外に出なくても楽しめる多世代の遊び場をつくる



Idea / 02

多世代が活躍できる、子どもが安心して遊べる・学べるまちへ

- 自然を活かした遊びや体験の場を整備・子どもと地域住民が交流できるイベントを開催
- 教育・自然・商業エリアをつないだ回遊性のあるまちづくり



Idea / 03

健康・にぎわい・移動でエリア全体で組み立てる

- 健康づくりや交流を促進する施設を配置・商業施設やコミュニティ施設を結び、人が集まる拠点を形成
- 公共交通やシェアサイクルを活用し、移動しやすい環境をつくる



Idea / 04

2つのスーパーをつなぐ「おりぴぃロード」で沿道を育てる

- 大型商業施設と新たなスーパーを結ぶ歩行空間を整備
- 沿道に飲食や交流の場を設け、にぎわいを創出
- 人が行き交い、回遊したくなるまち



各グループのアイデアは異なるものの、
狭山市駅東口エリアを「**住み続けたい**」「**訪れたくなる**」場所にしていくため、
人と人とのつながりや日常的なにぎわいを生み出すことの重要性が共通して挙げられました。

※画像はイメージです

